

## 内部環境監査（局等間監査）について

### 1 内部環境監査員について

各局区等から選任された内部環境監査員は、ISO等の外部審査員が講師を務める内部環境監査員養成講座を受講し、環境マネジメントシステム及び環境関連法規に関する基礎知識や内部監査の必要性等、監査に要する力量の習得に努めている。

選任に当たっては、監査経験者を代表監査員とし、他の監査員は未経験者から選任しており、KYOMS導入からこれまでの間に実施経験者を増やしながら、監査レベルの向上を図っている。

また、監査の直前には事務局が事前説明会を開催し、各監査項目についての説明を行うとともに、現場に持参し参照できる説明会資料を全ての監査員に配布している。

### 2 外部有識者会議委員の局等間監査への同行

昨年度に引き続き、監査の仕組みやチェックリストの内容についてアドバイスを頂くため、外部有識者会議委員4名に局等間監査へ同行していただいた。

#### (1) 同行日程

	同行委員	被監査局	監査局
11月10日	山田 國廣 (京都精華大学 名誉教授)	中京区役所	北区役所
11月13日	小林 茂雄 (小林技術士事務所 代表)	上下水道局	消防局
11月19日	杉本 博志 (NPO法人 KES 環境機構 理事)	上京区役所	深草支所
11月20日	花田 眞理子 (大阪産業大学 教授)	醍醐支所	洛西支所

#### (2) 局等間監査に関する御意見・御指摘

##### ア 評価された点

- ・ 監査側も被監査側も非常に丁寧に監査を実施していた。
- ・ 時間管理ができており、スケジュールどおりに監査を実施できていた。
- ・ 特に力を入れている所を聴くなどして良い所を見つけていた。
- ・ 監査員は下調べをしっかり行っていた。
- ・ 被監査側の資料準備等もきちんとされており、スムーズに監査が行えていた。
- ・ オープニングミーティング時の室長からの挨拶に「取組のアドバイスをいただきたい」との言葉があり、監査を前向きに捉えているところが非常に良かった。

## イ 課題として挙げられた点

- ・ 目標未達成の取組項目に対する対応策（是正処置）を聴き取る際に、被監査局の未達成理由を聴き取るに止まり、具体的な対策状況まで聴けていない監査があった。
- ・ 電子確認は事前に監査用フォルダにまとめておく、プロジェクターで投影するなど、確認時間を短縮する工夫があると良い。
- ・ 理想を言えば、チェックリスト以上の更に突っこんだ具体的な質問ができると良い。
- ・ 最初や最後にお互いの情報交換ができれば良いと思うので、そのような雑談ができる雰囲気作りがあると良い。
- ・ マンネリ化防止や効率的な監査を実施するために年度ごとに重点項目を設定すると良い。

## 3 意見聴取事項

- 監査への同行を踏まえ、内部監査の仕組みとして改善していくべき点
- 内部環境監査委員からの意見に対する御意見
- 監査員、被監査局の担当者へのアドバイス

### 【参考】内部環境監査委員会における内部環境監査員からの主な意見

- 他の局区の監査を行うことで、自所属の取組を振り返ることができた。
- 他の職場での取組を知ることで、工夫点などが参考になった。
- チェックリストのおかげでスムーズに監査を行えた。
- 例年チェック項目がほぼ同じであるので、年度ごとに重点的に監査する項目を設定してはどうか。
- 区役所は監査の対象項目が非常に多く、法令関係の項目など事前説明会だけでは監査役として十分な知識・技能を習得することは難しいと思う。
- 監査員は専門知識等が十分ではなく、チェックリスト以上の的確な指摘・助言が難しい。
- 所属の業務が手一杯である中で、かなり負担は大きかった。